

多 づ くり

題字

相田コマ
初代女性部長

女性部だより

調布市商工会女性部

〒182-0026
調布市小島町 2-36-21
TEL:042-485-2214

2020!新しい年を迎えて



女性部長 松村 徳子

しようか。

年号も改まったこの一年、女性部にとっても様々な思い出を紡ぐことができました。ここで一度皆様とともに振り返ってまいりましょう。

二〇二〇新しい年を迎え、いよいよ今年はオリンピック・パラリンピックの輝かしい年明けとなりました。昭和六〇年に発足した調布市商工会女性部も今年で三十五周年を迎えます。一月二十七日には、ご来賓の皆様をお迎えして記念祝賀会を開くこともできました。

女性部が発足した当時と比べましても、新しい駅舎や商業施設等が姿を現し、まちの風景も大きく雰囲気が変わってまいりました。人工知能等新しい技術も広がって生活はますます便利になるのでしょうか、この新しい年が節目となっていくので

最初に思い出されるのは昨年春のたづくりシアターにて上映しました「やさしくなめに」のチャリティー映画会です。私たち女性部で見たいと思っていた映画を市民の皆様にも呼び掛けて多数の方にご覧いただきました。とても温かくやさしい映画と大好評でした。皆様から頂いた上映料は、市内社会福祉への寄付として社会貢献することができました。昨年の関東ブロック大会は七月二日・三日に新潟にて開催することができました。関東十一ブロックの各県代表者の方々のそれぞれの地域

の特性を活かした素晴らしい発表をお聞きして、皆さんの元気と刺激をいただけてまいりました。そしてワールドカップを前にして調布でも何か活かせるようにとの思いから、大会から帰って間もなく山梨県南都留中部商工会に河内部長さんをお訪ねしました。いろいろお話をお聞きしたり、資料をいただいたりして意義のある交流をすることができました。九月には商工まつりが十四日・十五日に開催されました。今年は駅前広場で行われ、お天気にも恵まれてたくさんのお客様にきていただくことができました。女性部のチャリティーバザーも盛大に行われ出店も大忙しでした。女性部の皆様にはお手伝いいただき、お疲れさまでした。そしてその一週間後にはラグビーワールドカップの開会式開幕戦が行われ、女性部でも調布市主催のイベントに出店しました。外国の方も多くお見えでしたが、女性部として地

域に「元氣と笑顔」と心がけながら皆で頑張りました。

新年研修会では、三十五周年を記念いたしまして全国商工会女性部連合会全国大会にて最優秀賞に輝いた山梨県の河内女性部長さんにご講演いただきました。熱い心と素晴らしい街おこしのアイデアのお話をいただきました。そして、三十五年もの歳月、女性部が歩んでこれたのも、五名の歴代部長の大きなご尽力、そして何より長きにわたる女性部員の皆様の温かいご協力があったとのこととの思いを胸に、感謝の気持ちでいっぱいとなりました。

今年いよいよオリンピック・パラリンピックが七月に始まります。暑さが心配ですが、女性部もどのようなお手伝いができるかこれから部員の皆様と考えてまいりたいと思っています。

部員の皆様と元気で明るく楽しく親睦を深めながら地域の活性化の一翼を担えるように頑張っていけたらと思っています。今まで同様部員の皆様のご参加とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

今年も楽しい一年になることを心よりお祈り申しあげております。

第三十四回 通常部員総会



日 時 平成三十一年四月

十五日(月) 午後六時

会 場 商工会館三階研修室

部員総数 百三十四名

出席者 本人 三十名

委任状 六十六名

計 九十六名

六名

来 賓

議 案 第一号議案 平成三十年度事業報

告並びに収支決算

報告承認について

第二号議案 平成三十一年度事業

計画並びに収支予算

決定について

第三号議案 役員辞任に伴う一部改

選について

以上の議案が上程され、各議案とも満場一致にて可決されました。

なお、総会終了後「個室懐石調風」にて懇親会が行われ、和気あいあいと部員同士の懇親を深めました。



多摩川クリーン作戦

四月十四日(日)午前八時多摩川河川敷に集合し、部員十名で多摩川クリーン作戦に参加をいたしました。

多摩川の河川敷を下流に向かって、ビニール袋を片手に目線は足元に。小さなゴミも見落とすことの無いように歩きました。

今年、来年は、海外からのお客様を多数お迎えいたします。住みよい、美しい街調布を見ていただけるよう、女性部も更に充実した活動に力を入れてまいりたいと思います。

美野 ひろ子



関東ブロック大会(新潟大会)・女性部一泊研修会

七月二日(火)早朝、バスで関東ブロック大会の新潟県に向けて出発しました。りゅうとぴあ新潟芸術文化会館で「ようこそ、いらっしやいました!」と新潟県商工会女性部に迎えられました。会場には千五百人も集まり、関東一都十県の主張発表が始まりました。

それぞれ、各地域の特産品で名物を作ったり、アウトドア婚活を立ち上げたり、アロマオイルの香りをゼロから作ったり、地域独自の取り組みを発表しておりアイデアを出し



合って、地域の活性化に努めていると感じました。優秀賞の我らが東京都代表の日野市商工会は、新選組祭りでは、土方歳三うどんを三百食売り、土方歳三没後百五十周年にちなんだ絵葉書コンテストを開催して、街を活気づけました。最優秀賞に選ばれたのは、山梨県代表の南都留中部商工会で、富士山の麓に位置し、外国からの観光客が多い場所です。仏語・英語を習った部員が”おもてなし接待セミナー“により、単語や挨拶文をまとめた「指差し単語表」「指差しパンフレット」を作成配布し、皆に有効活用してもらい、喜ばれました。あまりに流暢な発表に、私はメモを書きとるのを忘れてしまふほどでした。

その日は白玉の湯”月岡温泉“に



泊まり、次の日はばかうけを製造・販売する栗山米菓のせんべいテーマパーク”新潟せんべい王国“に行き、職人さんが実際に焼いているところを見学しました。次は新潟屈指のパワースポット彌彦神社で、越後平野の弥彦山を御神体として祀る神社、万葉集にも歌われました。そして「魚のアメ横」と呼ばれる寺泊市場に行き、新鮮な稚魚や貝がずらりと並び、豊富な種類とリーズナブルな価格に驚きました。

北川 由紀子



商工まつり ”チャリティーバザー“



令和元年九月十五日(日)毎年恒例商工会女性部チャリティーバザーを調布駅前広場で開催。当日は天候にも恵まれ多くの方にお集まりいただくことができました。九月十日(火)十三時～値札付けを行いました。

皆様の思いのあるお品物を含めてたくさんの商品をチャリティーバザーにご提供いただいたお陰で収益金としてあわせて五万二百十五円を調布市・社会福祉協議会に寄付することができ社会福祉への貢献ができました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

チャリティーバザーは昭和六十年女

性部開設以来実施している事業です。社会福祉への貢献、商品集め・値札付け・販売という役割を多くの部員ができる範囲で協力することで参加意識を高め、また女性部活動を地域社会に理解していただくことを目的に行われてまいりました。これからも女性部がワンチームになり心一つに行う事業として継承してゆきます。



大場 尚子



商工まつり ”飲食物販“



まだまだ暑さが残る九月十四日・十五日、商工まつりが駅前広場で開催されました。来るラグビーワールドカップ開催への高まる期待から、どれほどのお客様がいらしてくださるか手探りの中、朝早くから部長のお店に集合してのキャベツ切りから始まりました。二十玉ほどのキャベツがみるみる千切りに。一玉ずつビニール袋へ入れ、その他の材料、道具などを車に積み込む手際の良さはさすがです！

女性部のテントはグリーンホール側の人通りも多そうな絶好の位置でした。鉄板の位置が決まると他の材料、油、ヘラなどの配置が決まり、

あつという間に鉄板に火がつきます。ちらほらお客様がみえる前にはすでにふみ焼きがスタンバイ完了！早速呼び込みが始まりました。気温は朝から上がり暑い一日でした。なかなかふみ焼きには手が伸びないかしら：と心配しましたが、お昼近くになるとふみ焼きも売れ始め、売れ始めれば俄然呼び込みの声にも力が入り、またその声にお客様が引き寄せられるという好循環が生まれ、テントの前には常にお客様が！お知らせいもたくさんご来店くださり、あちこちで大量買い！ありがとうございます！

暑い中女性部みんな協力し合い、良い汗をかきました。

鈴木 あゆみ



共同募金事務協力

共同募金事務協力に、女性部十名、事務局の岩撫さんで出席しました。毎回手順も慣れていて女性部の集まりとはいえ、自治体に配布するチラシを数えたり、募金袋を決められた枚数に束にする作業、決められた数のとおり箱に入れる作業、どの作業も大変！。

途中「休憩しましょう」の声でホッとしました。皆さんから差し入れをいただき、リフレッシュしたところで残りの作業もはかどり、少しでも多くの募金が集まることを願いながら終わりました。

皆さんとこのような活動に協力できたことをうれしく思いました。ありがとうございます。

厚沢 得恵



部員増強運動

昨今の厳しい経済環境の中、調布の事業者は互いに手を取り合いながら頑張っています。

商工会女性部は互助の組織です。新しい部員を広く募集し、女性部の輪を広げていくことを目的に、九月～十月の二か月間、地域振興委員会・正副部長会では部員増強運動に取り組みました。期間中一名の入部が実現しました。

さらには、期間の内外を問わない皆様のご尽力により、**本年度九名の新入部員**を獲得することができました。

女性部加入は随時受付をしておりますので、ぜひご紹介いただき組織の活性化にご協力くださいませ。連絡は事務局または地域振興委員まで。

第二十一回商工会女性部
全国大会 in しまね

「八百万（やおよろず）の神々集う縁（えにし）の地しまねにようこそ！」のスローガンを掲げ、十月二十九日（火）、島根県松江市の松江市総合体育館に、二千九十二名の女性部員が集まり、第二十一回商工会女性部全国大会が開催されました。調布市商工会女性部からも四名が参加しました。

最初の、まちづくり顕彰では、高齢者の方に花嫁衣裳を着ていただき、お化粧もして差し上げる「もう

一度花嫁事業」を続けてこられた羽村市商工会女性部ほか七女性部が表彰されました。

全国六ブロックの予選を勝ち抜いた代表者による主張発表大会では、表現力が年を経るごとにレベルアップしていると感じられました。

その中でも「WelcomeでOMOTENASHI」で最優秀賞を獲得された、関東ブロック代表の河内正子さんは、「オリンピック・パラリンピックを見据えて、指差し会話で外国人のお客様をおもてなししましょう」という取り組みについてユーモアを交えて堂々と発表されました。

数カ国語を習得し、指差し会話集を発刊して、外国人のお客様や接客業の会員に喜ばれたことや、多数のメディアにとりあげられたことなど、地域振興に寄与した素晴らしい活動です。

続いての「神在月（かみありづき）の国出雲へようこそ」と題した基調講演。

講師は、万九千神社（まんくせんじんじや）宮司、錦田剛志（にしきだつよし）氏でした。神在月に出雲に参集された全国八百万の神様たちは、お旅立ちの晩に万九千神社にお立ち寄りになり、直会（なおらい）と呼ぶ酒宴を催し、各地の神社へと

帰途につかれるそうです。

宮司様とは思えないユーモラスな語り口で、難しい神々の世界のお話から、聖徳太子の一七条憲法そして、明治天皇の五箇条のご誓文のいづれもが「日本型民主主義の源流」であるとのこととお話へと飛び、最後は、人としての優しさやぬくもり、生かされて今を生きていることへの感謝など、時を超えて大切にすべきものがあるとのこと講演でした。

出雲の国の神々とのご縁が結ばれ種々な徳を得させていただいた島根大会でした。

副部長 増田 弘子



歳末たすけあい運動 事務協力



十一月五日（火）午前十時から調布市総合福祉センターにおいて、事務協力のお手伝いに参加いたしました。

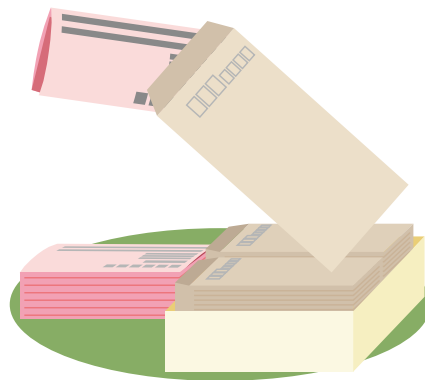
市内各自治会・協力事業所様に配布される資料・チラシや振込用紙を指定枚数の束に仕分けをする作業になります。

毎年、この時期に行う作業ですが今回も部員の方々のご協力によりスムーズに作業が捗りました。

歳末の募金活動に多くの人が賛同することで大きな力となつて互いに助け合う社会になるよう祈ります。

ご参加いただいた部員の皆様ご協力ありがとうございました

白井 久美



献血運動協力



調布市商工会女性部が主催する献血運動協力が、調布駅前広場にて十二月二十一日（土）開催されました。十二月下旬の寒い時期の開催でしたが、女性部の皆さん、寒さに負けないくらい大きな声で献血の呼びかけを行っていました。道行く人に声掛けをしたり、献血の説明が入ったポケットティッシュを配ったり、拡声器で呼び込みを行ったりするのは、とても勇気がいることだと思えます。それでも頑張つて自分の仕事をしっかりとこなされる女性部の皆さんは、とても恰好良かったです。

年末の調布駅前広場は多くの人が行き交っていました。皆さん忙しく、なかなか足を止めてお話を聞いてくれないのですが、そんな中でもこちらの説明をしっかりと聞いてくれ

る方、そして女性部員の気持ちも伝わったのか、快く献血を受けてくれる方も確かにいらっしゃいました。中には毎年女性部の献血を楽しみにされ、献血のためだけに足を運んでくれた方もいるなど、これまでの努力が実を結んだ場面もありました。

共催する赤十字の方とは、「五十五人くらい献血してくれればいいですね」と話をしていたのが、結果としては六十四人の方から献血いただけると、当初の目標を上回る大成功に終わりました。

特に冬場は献血者の数が減り、輸血用血液が足りなくなってしまうそうです。今回の女性部の頑張りで、一人でも多くの方が健康を取り戻せば幸いです。



事務局

三十五周年記念 新年研修会・懇親会



令和になって初めての新年研修会・懇親会、三十五周年の記念すべき大会が、調布クレストンホテルに於きまして晴れやかに開催されました。改めて会員の協力に感謝する次第です。

研修会の司会は白井久美研修委員。丁寧な打ち合わせをしての開始宣言。木崎委員の開会の挨拶に始まり主催者を代表しての加藤研修委員長の挨拶。今年の講師は山梨県南都留中部商工会河内正子女性部長をお招きして開催されました。

河内女性部長は、関東ブロック大会優勝ののち、島根県で行われた「女性部全国大会」にも関東代表として出場され、見事に最優秀賞。日本一の栄冠に輝かれております。河内部長は昭和五十年四月に商工会に入部し、平成十九年から女性部長に就任され、地域の要職に就かれております。

いよいよ本年となった東京二〇二〇オリンピック・パラリンピックに向けてここ調布にも大勢の外国人観光客がいらつしやる事が期待されております。それに対する「おもてなし」についての山梨県南都留中部商工会の先進的な取り組みについてのお話をいただき、今後の私たち調布市商工会の活動に活かすべく参考にしていききたいと思いました。

南都留中部商工会女性部は富士山が世界文化遺産に登録されたことにより、富士山検定三級取得に向け勉強に取り組み、出席者全員が見事に三級を取得しました。外国人観光客が増えてきたことを受け外国人観光客と対話に向けた研修会など「プリーズポイント指差し会話集」作成事業をしたこと等お話を聞き、大変に興味深い講演をしていただきました。今後ともそれぞれの地域を良いものとすべく尽力していき

たいと思いました。

白井嘉奈子委員の閉会の挨拶で興奮も冷めず余韻を残して新年懇親会に入りました。懇親会は三十五周年に相応しくご来賓も賑々しく、増田副部長の開会の挨拶。誓いの言葉に続き商工会女性部の歌を斉唱し、松村女性部長が勉強させていただきましたと感謝の言葉を申し上げ、長友調布市長はパラハートちようふを目指し頑張りましたと話されました。柳澤商工会長は「平成十二年に女性部になった。女性部青年部一体となって市民のためにやっていきたい。素晴らしいスピーチ・ユーモアのある話しぶり記念講演として感謝を申し上げます」との労いの言葉を話され、廣瀬都女連会長は、「ここに無事に集まることができたのが、何よりまずおめでとう。女性が一旦決めたことはすぐにはないかもしれないが必ずかなう。各市でその町で活躍している人が女性部に入っている。会員の皆様の後押しをお願いしたい」と、元氣のみなぎった挨拶を頂戴しました。

原島青年部長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。ビンゴゲームで盛り上がり、飛び入りで詩吟が出たり楽しい時間はあっという間に過ぎ、大竹副部長の閉会の挨拶で終焉になりました。懇親会の間、ずつ

と会を盛り上げる素晴らしい司会をしたのは鈴木あゆみ幹事。早くから準備をして陰ながら会を支えていた幹事の皆様と事務局。何より出席していただいた会員の皆様にも感謝申し上げます。初めて参加の会員さんが、楽しい会ですね、または是非出席したいと話しておられたのは印象に残りました。

副部長 加藤 みち子





調布探訪第二十三弾 電通大 少年少女 発明発見クラブ

令和二年三月七日（土）年号が変わり初となる探訪です。調布駅近くに位置する国立電気通信大学（以後電通大）内に「調布少年少女発明クラブ」は、二〇〇四年秋に電通大・一般社団法人目黒会（電通大同窓会）、公益社団法人発明協会の協力により電通大八十周年記念会館内に設置・運営された組織です。また、調布市・調布市商工会が共催し、現在に至っているとのことでした。電通大OB

の方々が講師となられ、今年で十六年目となります。

本日は私たち女性部七名も、他の方々と一緒に受講生となり、事務局の長沢先生の挨拶でスタートしました。クラブの奥野会長（電通大教授）より、今までの会のあゆみや地域に開かれた大学でありたい想い等々についてお話をいただきました。

さて、本日は「虹の万華鏡」作りに挑戦です。

使用材料

- ①紙コップ五個
- ②分光シート二枚
- ③遮光紙（黒）
- ④セロテープ二十〜三十cm



本日の講師 内海先生・田中先生
光の三原色、赤・緑・青の組み合わせでできる虹色（あか・だいだい・黄・みどり・あお・あい・むらさき）万華鏡作りスタート。作る楽しさを感じたひと時でした。

電通大OB講師の皆様、ありがとうございました。益々の会のご発展と、未来のチビッコ博士バンザイ！応援です。

副部長 大竹 勝子



編集後記

おかげさまで持ちまして第三十五号たつくりも出来ました。女性部の皆様いつも原稿を書いていただきありがとうございます。

広報委員 増田 岡本 高橋 中島
北川 鈴木

